

条幅部自由参考

3月25日正午必着

明石春浦先生書



體逸懷遐 (陸機)

身體が安逸でなければ、情懷ものびがたい。

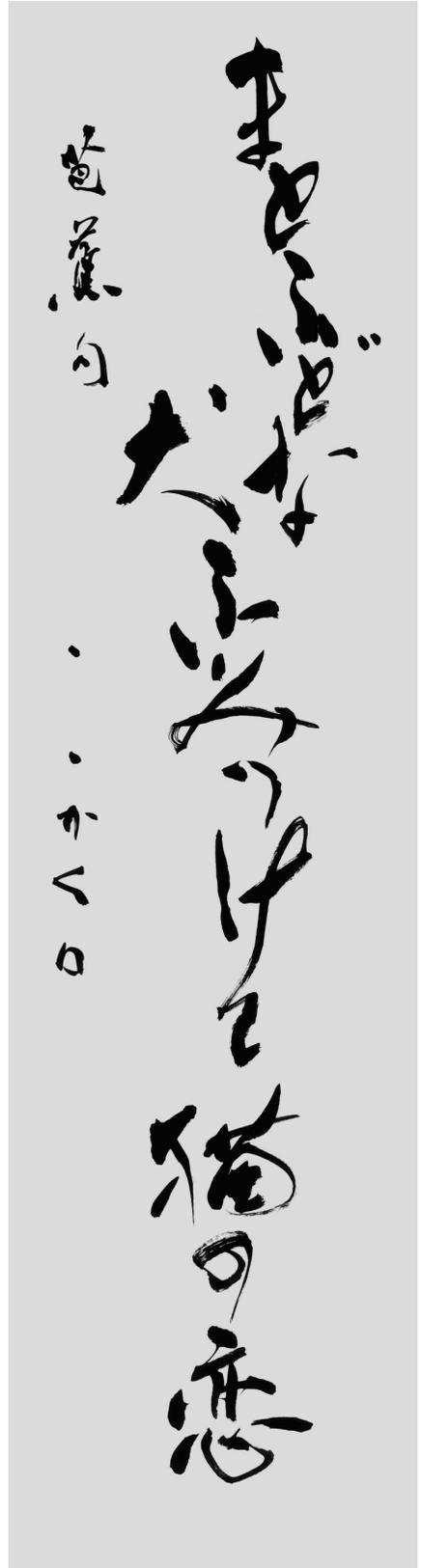
明石幸子書



春雪満空來 不知園裏樹
 觸處似花開 若箇是真梅

(東方虬)

雪中の梅をよんだものである。若箇は何ほどいくばく



まどふどな 犬ふみつけて 猫の恋 (松尾 芭蕉) 恋に夢中の猫は、間拔けな犬を踏みつけてうろつき回る。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

梅花偏能識_レ春(簡文帝)

梅花偏に能く春を識る

梅花は百花にさきだちて早春に花を開く。

好雨晴時三月暮
啼鶯到後百花休 (蘇子由)

好雨晴るる時三月暮れ
啼鶯到る後百花休す

好雨の晴れるころは三月も暮れ、
黄鳥が啼くにつれて百花は散りてゆくのである。

三月五日泛_二長沙東湖_一(張又新)

三月五日、長沙の東湖に泛ぶ 張又新

上巳餘_二風景_一芳辰集_二遠坰_一

上巳 風景を余し 芳辰 遠坰に集う

湖光迷_二翡翠_一草色醉_二蜻蜓_一

湖光 翡翠を迷わせ 草色 蜻蜓を酔わしむ

鳥弄_二桐花_一日魚翻_二穀雨_一萍

鳥は桐花の日を弄び 魚は穀雨の萍を翻えす

從_レ今留_二勝會_一誰看_二畫蘭亭_一

今従り 勝会を留むれば 誰か看ん 蘭亭を画くと

長閑なる日影はもれて笹竹に籠れる庵も春は來にけり (上田 秋成)

半紙部規定課題A

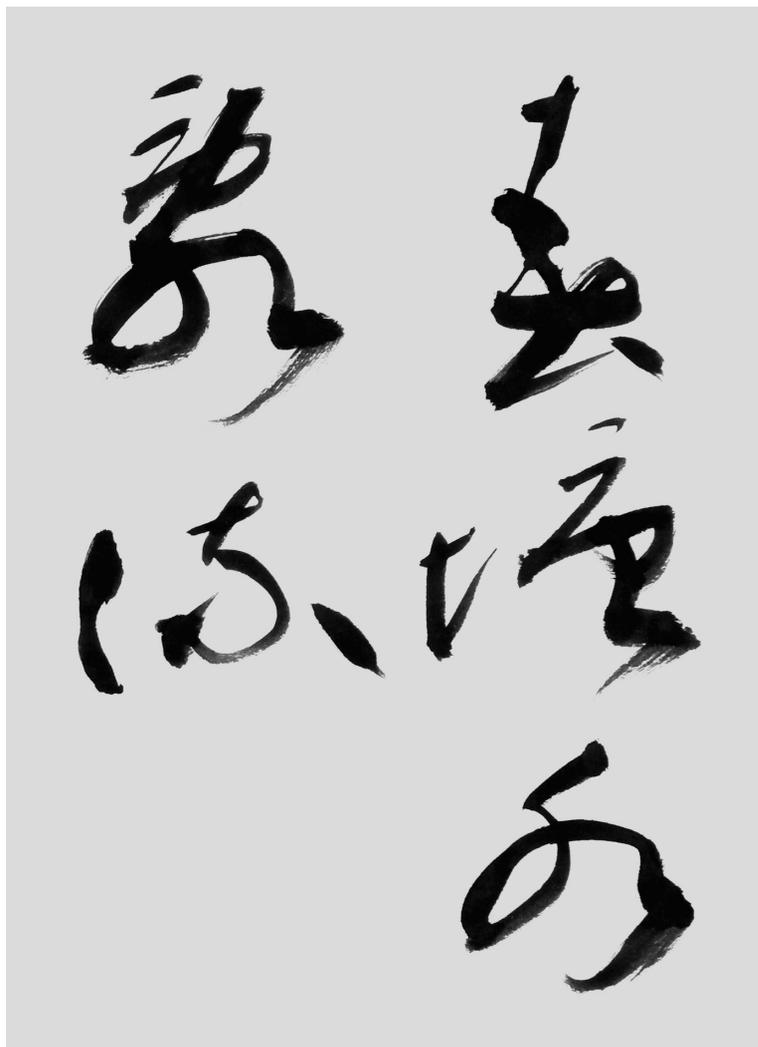
3月25日正午必着

亂 春
流 塘
水

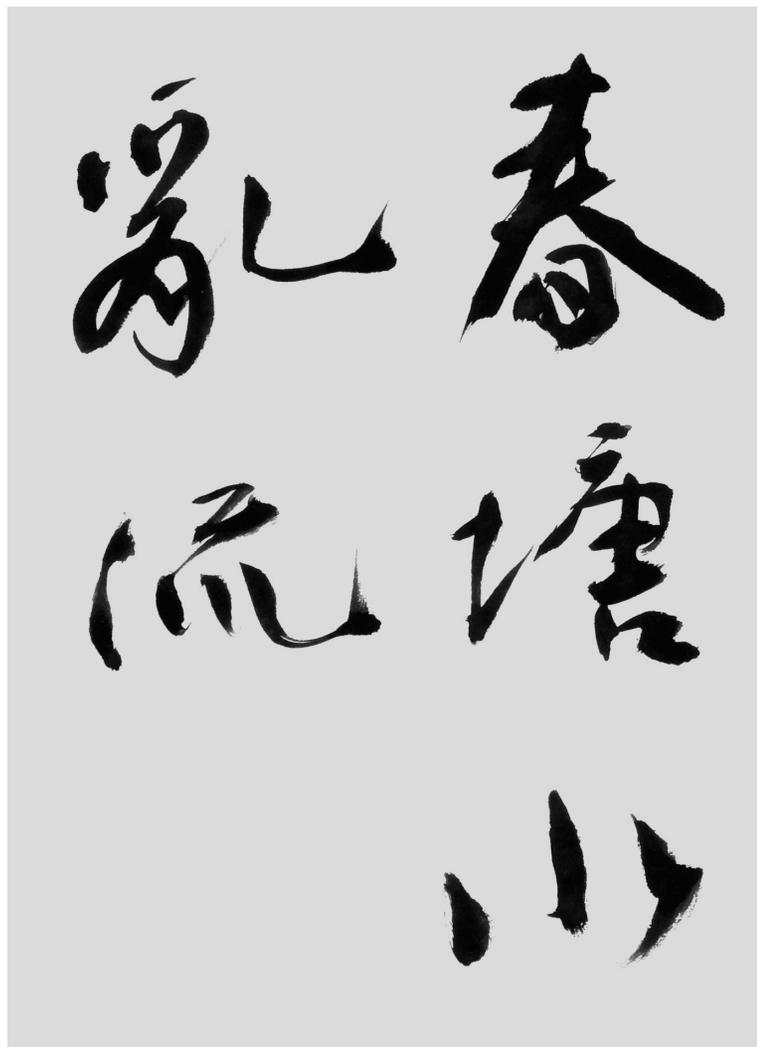
※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



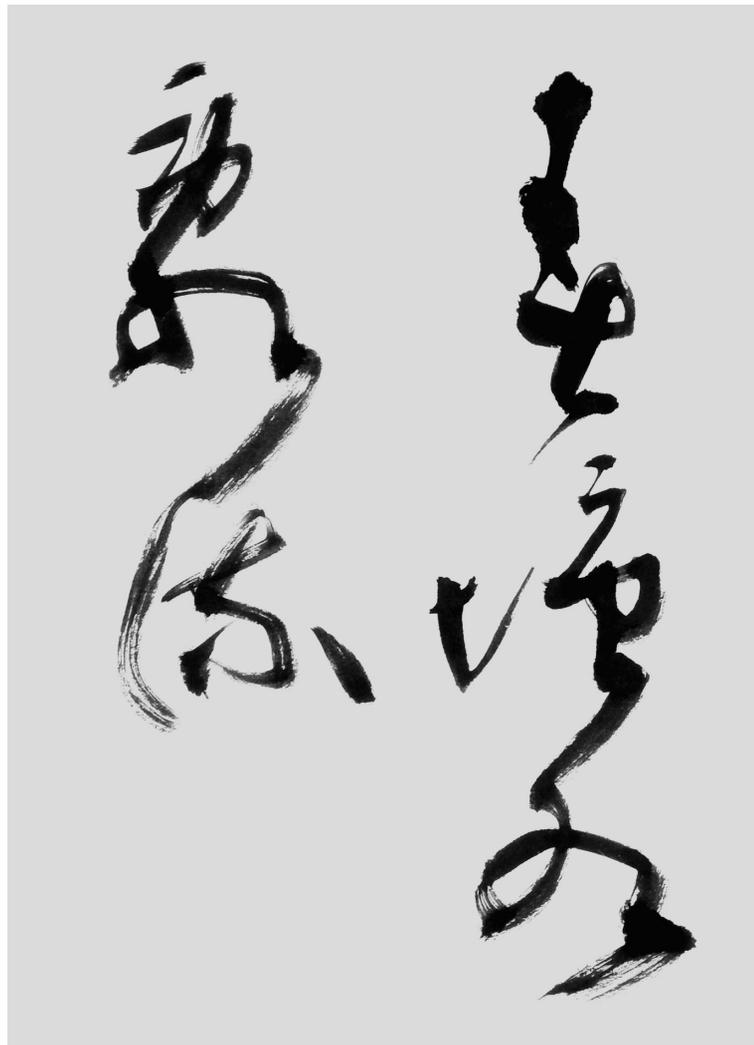
草書



行書



隸書



行草書



篆書

送王牧往吉州

謁史君叔

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて史君叔に謁する
を送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受
けつぐ

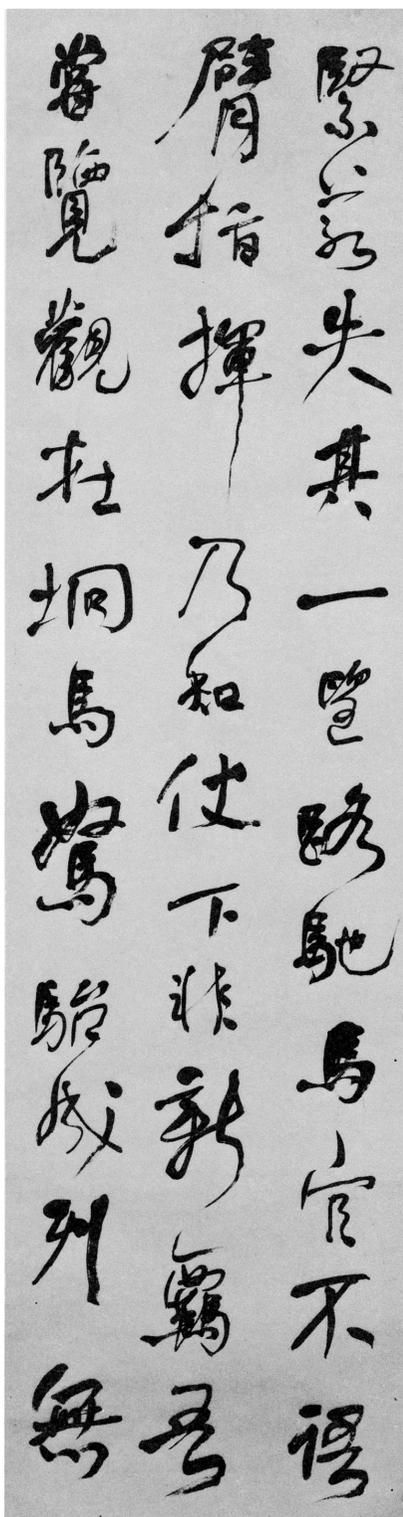
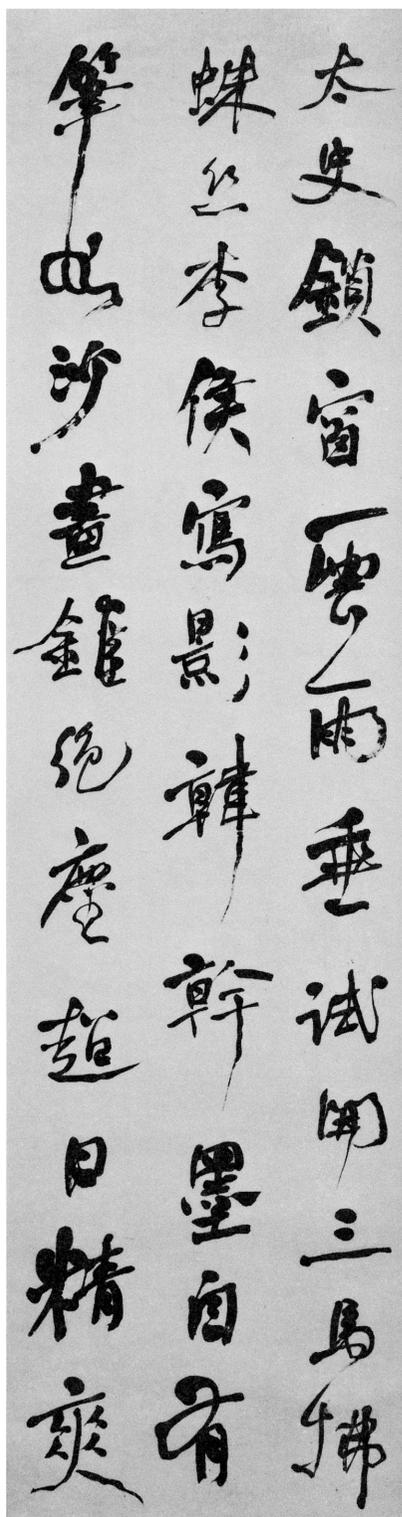
野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
太守は甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

朝日新聞社刊

「三体詩」下より

3月25日正午必着

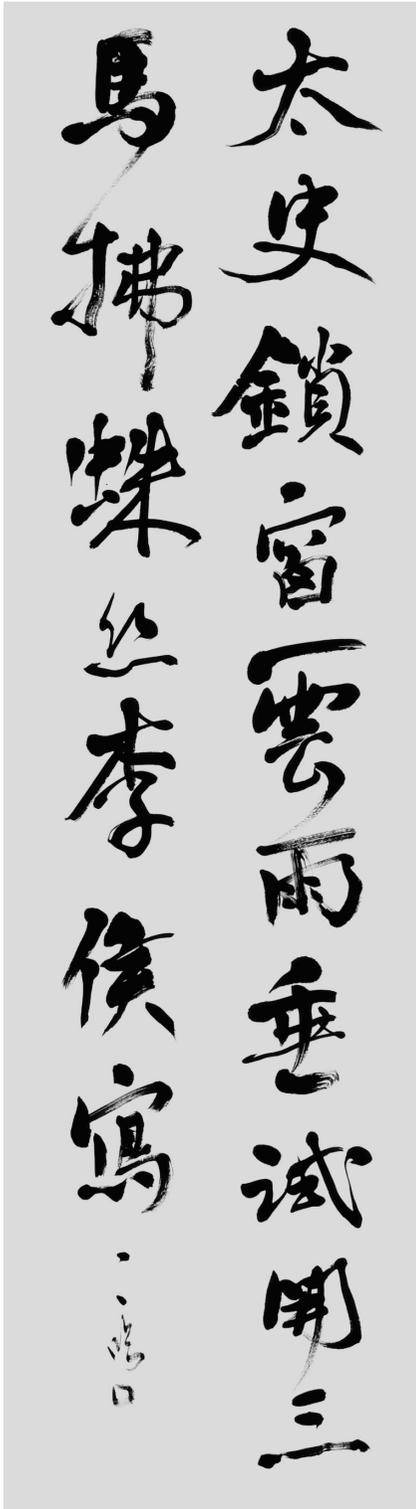
太史瑣窗雲雨垂試開三馬扠／蛛糸李侯写影韓幹墨自有／筆如沙画錐絶塵超日精爽
太史（黄庭堅）の瑣窓に雲や雨がたれる時、試みに三馬の絵を開いて蜘蛛の糸を払う。李侯（公麟）が模写するのは韓幹の墨、自然に筆に錐で線をひいたよう。砂塵を立てず日を追いこし精神は緊張して、



緊若失其一望路馳馬官不語／臂指揮乃知仗下非新羈吾／嘗覽觀在垆馬駘成列無
その相手を失ない路を望んで走るよう。馬役がものを言わず臂で指揮するだけで、鞭の下にある馬が新しく飼われたものでないと分る。私はいつか牧場にいる馬を見たことがあるが、驚馬が列をなしてすぐれたものはなかった。



太史（黄庭堅）の瑣窓に雲や雨が



太史（黄庭堅）の瑣窓に雲や雨がたれる時、試みに三馬の絵を開いて蜘蛛の糸を払う。李侯（公麟）が模写するのは

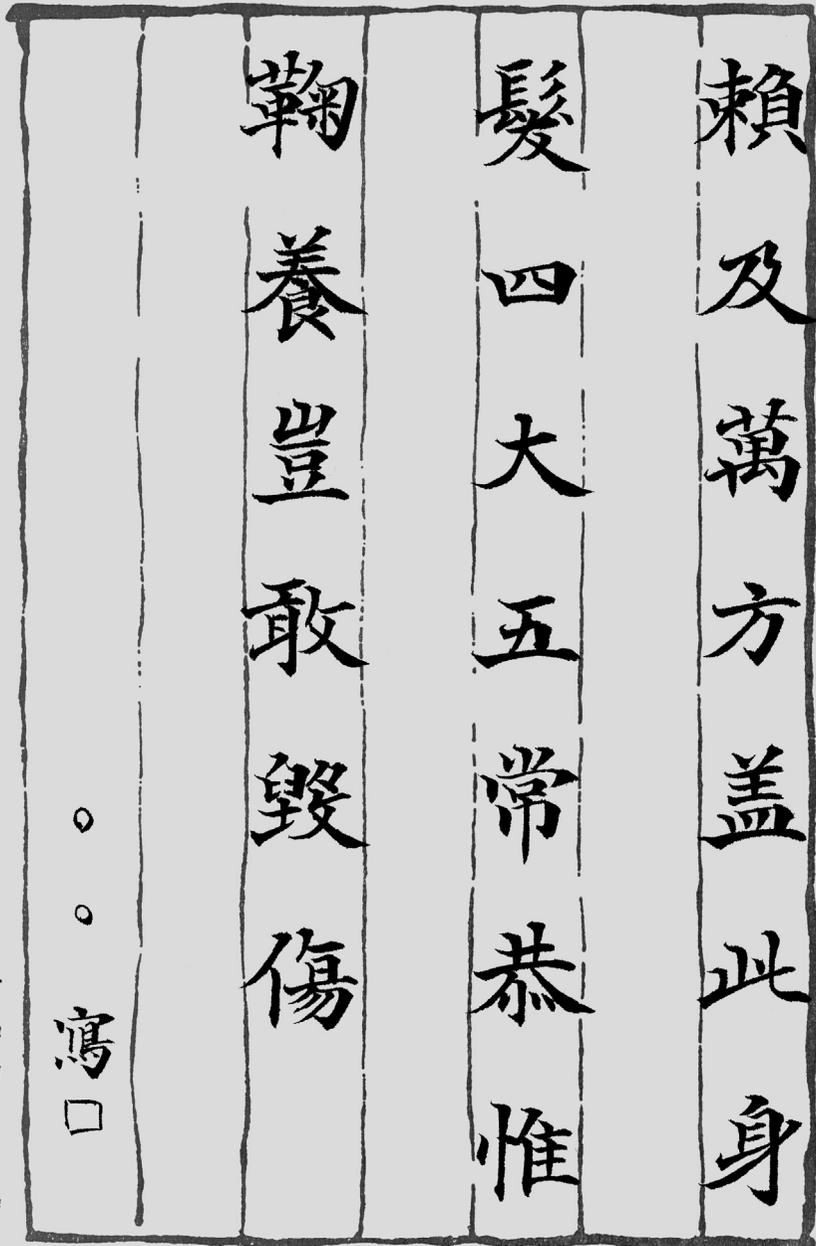
清何紹基・畫馬贊

何紹基は湖南省・道州の人。字は子貞・東州と号し、後に援叟と号した。詩に熱中し、二十歳頃には一家の風を開く。二十四歳の時に北京で包世臣と交わったことが、金石研究の端緒となった。三十七歳で郷試に、翌年進士に合格し翰林院に入った。この時、指導官阮元から北碑唱導説を受け、北碑の研究に打ち込むようになった。

書風は父から「横平堅直」を受け、北碑・隸篆・鐘鼎文字まで広く学んだとされるが、根底には顔法があった。包・阮の感化を受け、書法の最後の練磨を漢碑の隸書に賭ける。特に「張遷碑」に力を尽くした。

楊守敬は彼の書について「世間の人は彼の天分がすぐれていることは知っているが、刻苦精励したということを知らない。彼の書を習うと軽佻になりやすいのは、学ぶ者の心が彼の精神的な深さに及ばないからである。」と述べている。

この畫馬贊は七言古詩一首を四屏に書したものである。見た目のイメージだけで臨書すると、散漫になり易く危険。廻腕直筆に構え、伸びやかで呼吸の長い連筆を心がけたい。（春廣）



玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550 | 税込、送料別）

西 墨濤先生書

ものなべて
わすれしごと
き小春日の
光のなかに
息つきにけり

ものなべて
わすれしごと
き小春日の
光のなかに
息つきにけり



松永翠舟先生書

ものなべて
那邊
わすれしごと
春連
支
小春日の
能
光のなかに
奈可
息つきにけり
支尔遣
(古泉千樞)



しん
真

じゅ
珠

中学一年

雨宮春聲先生書



ゆう
雄

し
姿

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



かい
開

ほう
放

小学五年

榎戸春龍先生書



はい
俳

く
句

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着



さ

ゆう

小学三年

藤田幸春先生書



しゅ

やく

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

らん 小学一年・幼年



森戸春濤書

だす 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

典をひいて調べよう	むずかしい言葉は辞
-----------	-----------

小学五年

観測のために打ち上げられる人工衛星

小学六年

校庭のすみに植えられた卒業の記念樹

中学

春の便りを乗せて静かに流れる雪どけ水

一般(級位)

鶯のなげどもいまだふる雪に杉の葉しろしあふさかの山(後鳥羽院)	鶯のなげどもいまだふる雪に杉の葉しろしあふさかの山(後鳥羽院)
---------------------------------	---------------------------------

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

く	み
	ん
ひ	な
な	で
ま	た
つ	の
り	し

幼年

う	つ
	ば
あ	め
お	か
い	と
空	び
	か

小学一年

る	た
	に
ゆ	間
き	に
ど	な
け	が
水	れ

小学二年

バ	四
ー	つ
を	葉
見	の
つ	ク
け	ロ
た	ー

小学三年

と	雨
な	の
っ	し
て	ず
広	く
が	が
っ	波
た	文

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。